

2019年度 事業計画

(概要)

2019年度の事業計画は、前年度比182万円増の2,421万円としました。2,421万円の内訳は、各種助成金が1,260万円、患者調査費が400万円、事業に関わる費用が761万円となります。助成金の内訳は、「呼吸の日(5月9日)」、「肺の日(8月1日)」に日本呼吸器学会が全国8カ所で開催する市民公開講座とGOLD日本委員会が開催する「日本COPDサミット」に共催する市民公開講座開催助成金が200万円、日本呼吸器障害者情報センター、ポリオの会、東北白鳥の会などの患者団体に対する助成金が60万円、呼吸器疾患の疫学調査、病態解明や予防法、治療法の開発などのグループ研究に助成する研究助成金が1,000万円です。また、日本呼吸器学会肺生理専門委員会で作成する在宅呼吸ケア白書の患者調査を実施します。その他として、名古屋で開催される日本医学会総会で当財団主催で開催する市民公開講座と事業運営に関わる諸費用合せて761万円を事業運営費用として計画しました。

以上により、2019年度は2,421万円の事業計画を立案致しました。

(内容)

摘要	金額	備考
1.市民公開講座助成	200万円	「呼吸の日」、「肺の日」の市民講座 北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿 中国・四国、九州の8件 「日本COPDサミット」の市民講座 東京の1件
2.患者団体助成	60万円	日本呼吸器障害者情報C、ポリオの会 東北白鳥会、J-LAMの会、北海道低肺の会 神奈川もみじ会
3.研究助成	1,000万円	グループ研究に対する助成を5件
4.患者調査	400万円	在宅呼吸ケア白書の患者調査費
5.事業運営費用	761万円	日本医学総会の市民公開講座開催費用：200万円 事業運営に関わる諸費用：561万円
	2,421万円	